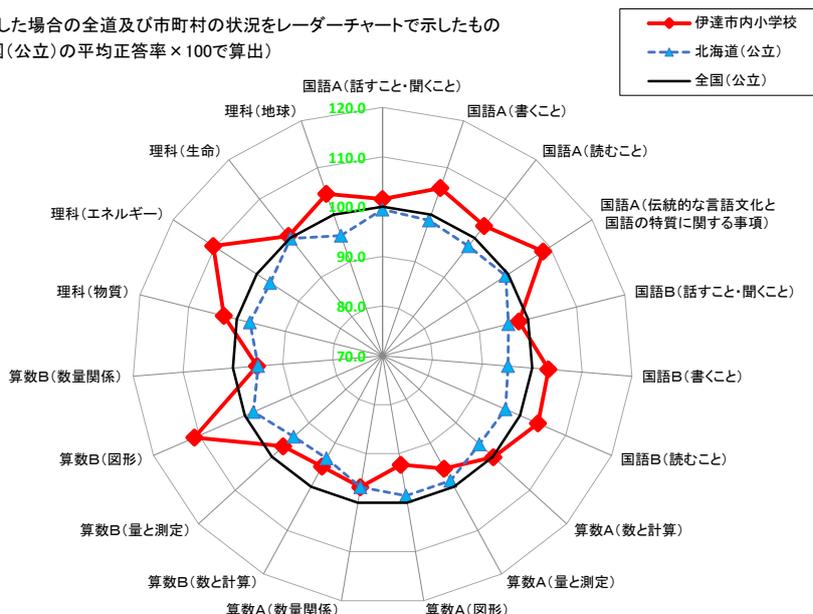


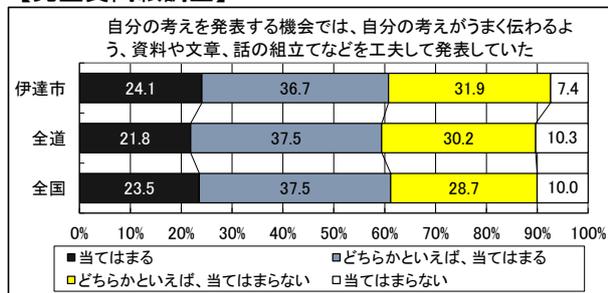
# 伊達市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:9校、児童数:268人)

## 【教科全体の状況】

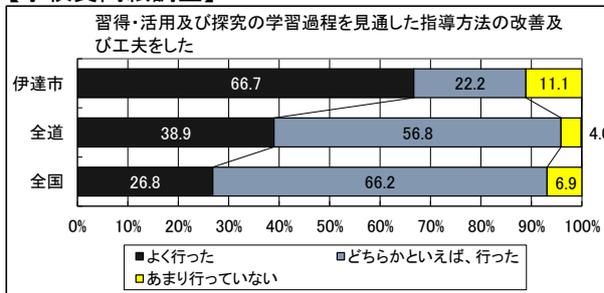
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語A・B、理科において、全国を上回っている。</li> <li>○ 国語Aでは、全ての領域で、Bでは、「書くこと」、「読むこと」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数Aでは、「数と計算」、Bでは「図形」で全国を上回っている。</li> <li>○ 理科では、全ての領域で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、教員が習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしたことにより、児童は自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表するようになり、特に国語で基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表した」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	

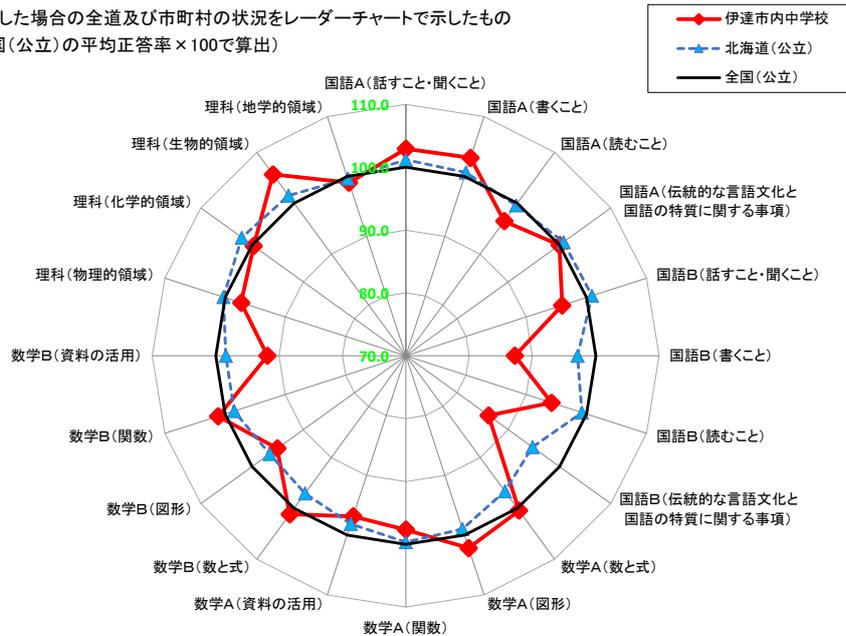
## 【伊達市の学力向上策】

- ◎ 市独自の学力テストの実施
- ◎ 学校ごとの学力・学習改善プランの策定
- ◎ 伊達市教育実践交流・研修会の実施
- ◎ 研究校指定による公開研究会の実施

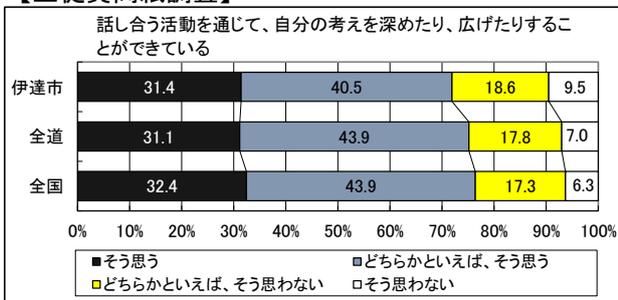
# 伊達市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、生徒数:239人)

## 【教科全体の状況】

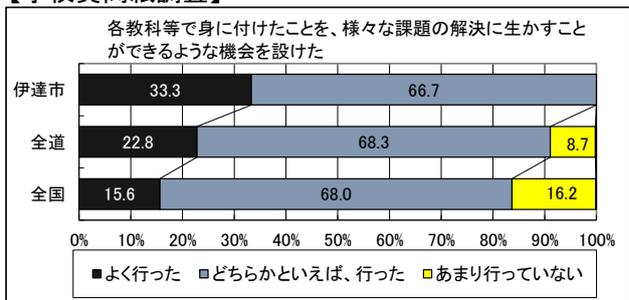
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語A、数学A、理科において、全国とほぼ同様である。</li> <li>○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」で全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 数学Aでは、「数と式」、「図形」、Bでは、「数と式」、「関数」で全国を上回っている。</li> <li>○ 理科では、「生物的領域」で全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、教師が各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けたことにより、生徒が自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようになり、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られたと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国とほぼ同様になっている。	
学校質問紙	○ 「調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

## 【伊達市の学力向上策】

- ◎ 市独自の学力テストの実施
- ◎ 学校ごとの学力・学習改善プランの策定
- ◎ 伊達市教育実践交流・研修会の実施
- ◎ 研究校指定による公開研究会の実施